

みずほCustomer Desk Report 2025/03/06号(As of 2025/03/05)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	149.86 AUD/USD
TKY 9:00AM	149.83	1.0624	159.00	1.2796	0.6267
SYD-NY High	150.18	1.0796	160.70	1.2901	0.6342
SYD-NY Low	148.40	1.0602	158.83	1.2771	0.6235
NY 5:00 PM	148.90	1.0789	160.69	1.2893	0.6335
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	43,006.59	485.60	日本2年債	0.8300%	0.0000%
NASDAQ	18,552.73	267.57	日本10年債	1.4400%	0.0200%
S&P	5,842.63	64.48	米国2年債	4.0058%	0.0235%
日経平均	37,418.24	87.06	米国5年債	4.0751%	0.0342%
TOPIX	2,718.21	8.03	米国10年債	4.2795%	0.0381%
ソコ日経先物	37,700.00	735.00	独10年債	2.7830%	0.3035%
ロンドンFT	8,755.84	▲ 3.16	英10年債	4.6720%	0.1465%
DAX	23,081.03	754.22	豪10年債	4.3660%	0.0960%
ハンセン指数	23,594.21	652.44	USDJPY 1M Vol	11.69%	0.09%
上海総合	3,341.96	17.76	USDJPY 3M Vol	10.87%	0.13%
NY金	2,926.00	5.40	USDJPY 6M Vol	10.47%	0.09%
WTI	66.31	▲ 1.95	USDJPY 1M 25RR	▲1.71%	Yen Call Over
CRB指数	301.47	0.24	EURJPY 3M Vol	11.38%	0.28%
ドルインデックス	105.74	0.00	EURJPY 6M Vol	10.99%	0.14%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
3月5日	09:30	豪 GDP(前年比)	4Q 1.3%	1.3%
	10:45	中 Caixin中国PMI(前月比/前年比)	2月 51.5/51.4	-/50.7
	16:45	仏 鉱工業生産(前月比/前年比)	1月 -0.6%/-1.6%	0.4%/-0.2%
	16:45	仏 製造業生産(前月比/前年比)	1月 -0.7%/-2.4%	0.6%/-
	17:55	独 サービス業/コンポジットPMI・確報	2月 51.1/50.4	52.2/51.0
	18:00	独 サービス業/コンポジットPMI・確報	2月 50.6/50.2	50.7/50.2
	19:00	欧 PPI(前月比/前年比)	1月 0.8%/1.8%	0.3%/1.3%
	22:15	米 ADP雇用統計	2月 77k	140k
	23:45	米 サービス業/コンポジットPMI・確報	2月 51.0/51.6	49.7/50.4
3月6日	00:00	米 製造業受注(前月比/除輸送)	1月 1.7%/0.2%	1.7%/0.2%
	00:00	米 耐久財受注(前月比/除輸送用機器)・確報	1月 3.2%/0.0%	3.1%/0.0%
	00:00	米 ISM非製造業景況指数	2月 53.5	52.5

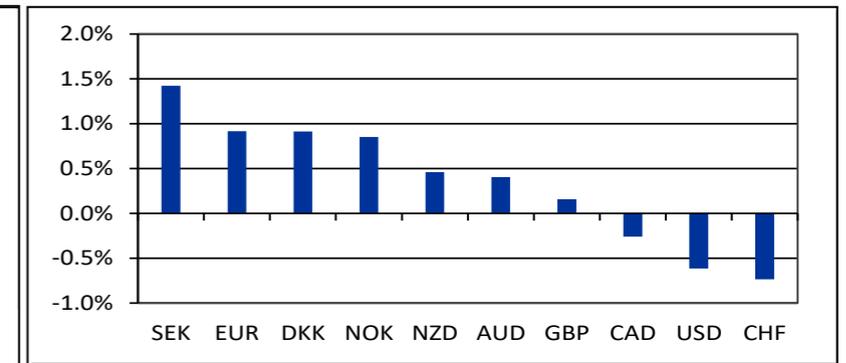
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
3月6日	09:30	豪 貿易収支	1月 59.00億	50.85億
	19:00	欧 小売売上高(前月比/前年比)	1月 0.1%/2%	-0.2%/1.9%
	22:15	欧 ECB主要政策金利	3月 2.65%	2.9%
	22:30	米 貿易収支	1月 -1289億	-984億
	22:30	米 新規失業保険申請件数	1-Mar 233k	242k
	22:45	欧 ラガルドECB総裁記者会見	-	-
3月7日	05:30	米 ウォラーFRB理事発言	-	-

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	148.20-149.80	1.0700-1.0850	159.00-161.00

【マーケット・インプレッション】

連続性のある経済相場ではなく、非連続な政治相場。報道に一喜一憂し猫の目のように展開が変わる。関税及びウクライナ支援に不透明感がある限り、この相場は続くと考えべきか。ただ昨日海外の欧州債急落、またこれに伴う欧州金利上昇からのユーロの急上昇に、いったん今回のパニック相場のピークを感じるものがある。本日はECB理事会にて利下げが予想されるが、注目はその後のラガルド総裁の発言だろう。現在の環境を踏まえ何を発言するか。明日の米雇用統計もあり、ラガルド総裁による相場の鎮静化に加え明日の雇用統計をこなすと、市場は経済状況を踏まえたやや落ち着いた相場の戻りではないか。それまでは引き続き目が離せない相場が続くようだ。

東京	東京時間のドル円は149.83レベルでオープン。午前中に行われた日銀内田副総裁の講演内容にサプライズはなく、通過。149円台後半でもみ合い、149.60レベルで海外に渡った。
ロンドン	ドル円は149.60レベルで始まり、149.10から149.80の間で取引され、149.54レベルでNYに渡った。市場はこの日、米指標を控えて閑散としていた。ユーロは2025年の最高値を更新し続け、2024年10月の水準に達している。ドイツの新政権が同国の債務規則を改革し、防衛を強化すると発表した後、独DAX指数は3%超上昇した。これによりユーロの需要が高まった。ユーロドルは1.0627レベルで始まり、1.0722の高値で取引された後、1.0696レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は149円台後半でスタート。トランプ米大統領の施政方針演説が行われるも、特段サプライズの発言は見当たらず。その後は米金利の低下を背景とした売りが優勢となり、じり安で推移し、149.54レベルでNYオープン。朝方に発表された米2月ADP雇用統計が予想を下回ると、米労働市場の減速が懸念され、ドル売りが一段と強まり、148.40まで下落。しかし、続いて発表された米2月ISM非製造業景況指数ヘッドラインが予想を上回ると、149.10付近まで戻す。午後はトランプ政権が対カナダとメキシコへ発動した関税案を巡り、自動車の部分については1か月延期する可能性があるとの一部報道が下値を支え、その後148.90レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.06台前半でスタート。米金利の低下や、前日に発表されたドイツの防衛とインフラ投資を目的とした特別基金設立が好感された事を受け底堅く推移し、1.0696レベルでNYオープン。午前中は低調な米2月ADP雇用統計の結果や、独金利が上昇幅を拡大する動きを受け、1.0790まで上伸。午後ユーロ高の展開が続き、終盤にかけては1.0796まで上値を伸ばし、1.0789レベルでクロス。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。